

# 倉敷市における「保育士・保育所支援センター」の取組 (保育士になるなら倉敷で)



倉敷市保育士・保育所支援センターの特徴 (公立保育園・認定こども園の園長OB2名+事務職員1名配置)

## 取組のポイント

1 保育士・保育所に寄り添った支援 2 ニーズや状況に合わせた多層的な取組の実施 3 保育の現場・養成校と連携した取組の充実

- ① 現役保育士を離職させないため、現役保育士が求める魅力ある・働きやすい職場づくりや研修機会の充実
- ② あらゆる手段での保育士確保策の実施 (民間保育所協議会・私立幼稚園協会・養成校との連携)
- ③ 保育士を保育所・養成校・市の全体で育成へ (市内高校 → 市内養成校 → 市内の保育所等への就職)
- ④ 市直営によるメリットをいかし、保育士・保育所からの率直な意見をダイレクトに保育施策へ反映

## 主な取組例

高校生向け出前講座の様子



交流研修会の様子



実技研修会の様子



① ○悩み・情報の共有のため交流研修会の実施 (年代別・経験別・担当歳児別・男性保育士のみなど)  
○上記で要望のあった研修の復命書なしでの実施 (育休中・子育て中・運動会や発表会の題材など細かなテーマでの交流会、ピアノ・おもちゃ・読み聞かせ・運動あそびなどの実技研修など)

② ○潜在や就職前の保育士に寄り添った体験研修会の実施 (場所・内容などは個別相談での対応、体験中はセンター職員が寄り添い、就職後もフォローアップなど)  
○民間保育所協議会・私立幼稚園協会・養成校との連携した就職ガイダンス・就職フェアの開催 (年4回程度)

○民間園専用のHP開設及び就職希望登録サイトの設置  
○公民私立保育所・幼稚園など市内の就学前施設就職・各種相談窓口の一元化  
○無料での保育士試験準備研修会や幼稚園教諭免許状更新講習会の実施

③ ○①の研修の成果を冊子して、各園へ配布することで内容のフィードバック  
○養成校 (主に保育園を取り巻く環境等の説明)・高校 (保育士の魅力PR)での授業  
○保育士確保・保育士育成だけでなく学生確保もテーマにした「養成校連絡協議会」の実施

④ ○市の保育施策立案の担当である保育・幼稚園支援室へ情報提供  
☆安心して市で働いてもらえるよう多様化する保護者対応などに悩む保育士・保育所へ「市内の保育士・保育所等は市が守るという方針」の明確化 (教育委員会・警察とも連携)  
「市全体の防災情報発令時の対応方針」を作成するとともに「防災情報発令時の対応」・「コロナ対応」などの通知は園と市の連名で保護者に通知したり、市全体としての保育内容等の文書も発出  
☆保育士自身の育休・育児時間・学童保育送迎への配慮など

保育士も子育ての時間がちゃんととれるよう配慮するなど公立園で各種施策を実施し、毎年10名程度の退職が退職者0名を達成 ⇒ 成功例を民間園へ伝える。